

# いきいき広場

## 高橋さやかさん

田沢湖を眼下に一望できる水沢温泉郷で、ロッチヨードルを営む二代目、高橋さやかさんを訪ねました。

東京の大学へ進学し大手商社勤務しフランス滞在1年、イベント会社勤務を経て、ロッチを継ごうと秋田に帰って3年、あつという間に時間が過ぎたと話す「さやか」さん。

今は、母と二人で、お客様を迎えている。

ヨードルでは、母の作った野菜、弟が作ったお米を使った料理がテーブルに並び、「とても美味しい」とお客様には大好評。



ているホームステイで、フリカの女性が宿泊したとの事。フランス語圏の方達なのでフランス滞在時の語学力が役立ったようだ。

インバウンドに力を入れている仙北市。アジアの宿泊客が多い中、田沢湖のパウダースノーやトレッキングを求めてくる欧米人も折りみられる。

「今後は欧米人の誘客に力を入れていきたい」と目を輝かせて語るさやかさんでした。

(門脇晃幸記)

# 控室

## 地域教育

6月から始まった松木内地区の学校適正配置意見交換会に4度参加させていただいた。

最初は「統合ありきの会議」

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

平成の時代に終わりを告げる新しい時代の幕開けの年です。

議会でも、昨年12月定例会よりペーパーレス化に取り組み、タブレット端末機を導入しました。使いこなすのに時間がかかると思われていましたが、議会資料をワンタッチで全員に送信したり、タブレットを見ながら討論を行なうなどスムーズにできました。9月以降は、完全ペーパー

ではないかということで、行政・教育委員会への感情的な意見が多く、意見集約が難しいような状況ではありませんでした。最終的には、現状のまま適正配置をしないことを確認しました。

最後の会議での父兄の意見は、地域の教育は行政・教育委員会任せとすることなく、自分たちが主導し地域を

レスに切り替わります。それまで、慣れる事が必要と思います。

さて、「経世済民」とは、本来は経済の原語・訳語ではなく、政治・統治・行政全般を指示する語で、「世を経（おさ）め、民を済（すく）う」すなわち政治によって民を救う事である。との中国古典の語であります。

生活者の声、市民の声をどう政策提言し、実行していくかは議員一人一人に課せられた命題です。

人の役に立つ議員として、新しい時代を切り開くための議会だよりを広報委員全員で、皆さんに発信してまいります。

巻き込んだ取り組みが必要である。防災教育としての避難所体験や、地域運動会の復活等も子供たちと一緒に実践することで貴重な体験となる等々。

子どもたちを置き去りにすることなく、前向きな意見・提案のできる若い父兄の姿に頼もしさを感じました。

(武藤義彦記)

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(熊谷一夫記)



■タブレット端末機を使用した議会風景